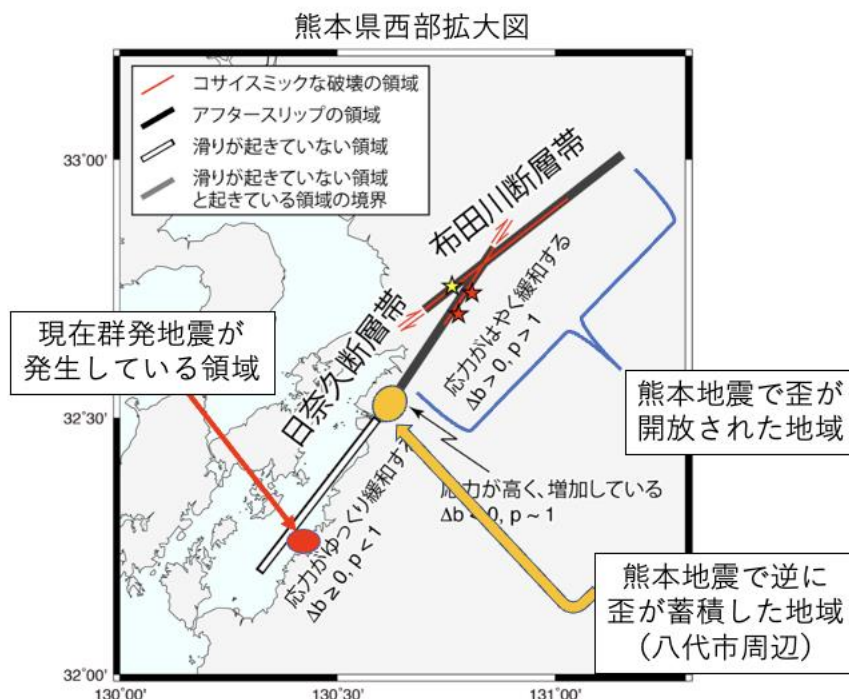




熊本県南部で少し心配な地震活動

今年は熊本地震から10年という節目の年ですが、水俣市周辺で3月15日ごろから群発地震活動が開始しています。まだ観測された震度は最大でも3ほどで、有感地震となったのは30個ほどですが、すでに体に感じない地震は20日までに900個以上が観測されています。

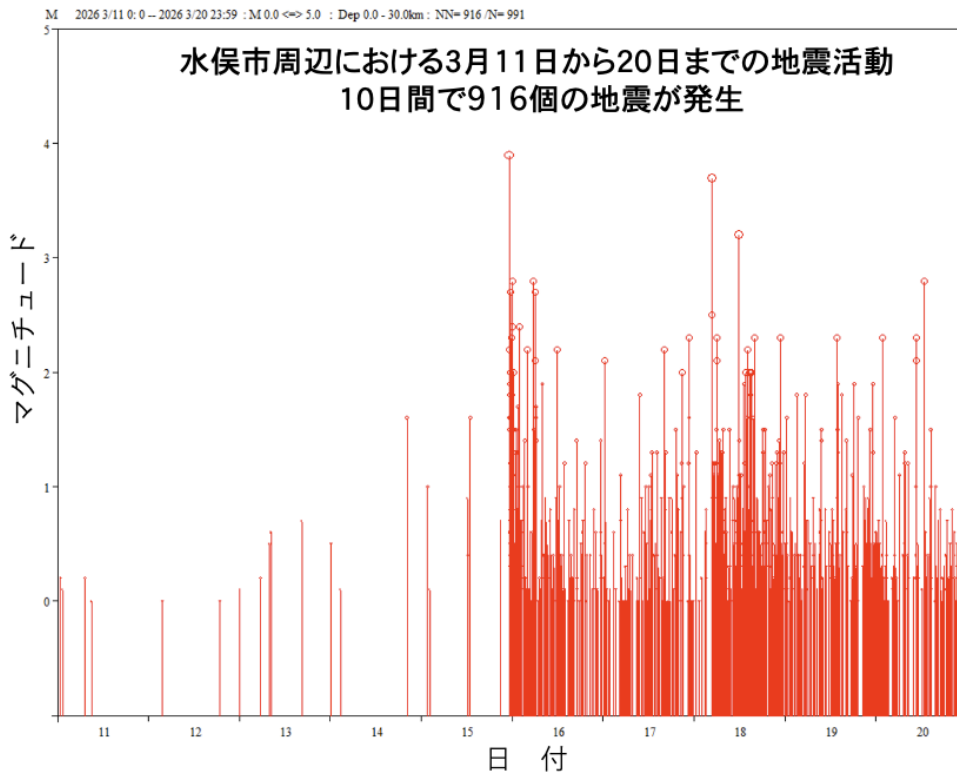
熊本地震の発生により、震源域での歪は開放されましたが、まだ歪が開放されずに、熊本地震の発生により逆に歪が蓄積された場所があります。そのため熊本県八代市周辺で地震学的に比較的大きな地震の発生が危惧されています。以下は静岡県立大の楠城一嘉さんが国際学術誌に掲載した結果をまとめた図です。以下の図は2023年4月10日号に掲載の図に今回の群発地震活動の発生領域を書き込んだものです。



次の図が実際に現在発生している地震活動です。少し気になりますのが、水俣市だけでなく、東側の人吉市方面でも微小地震が発生しており、ほぼ直線的に発生している事です。ここには国は活断層の存在は認定していませんが、未発見の活断層が存在する可能性もゼロではありません。



上の図の黒の四角で囲った領域で、どのような時系列で地震が発生したかを次にお示しします。

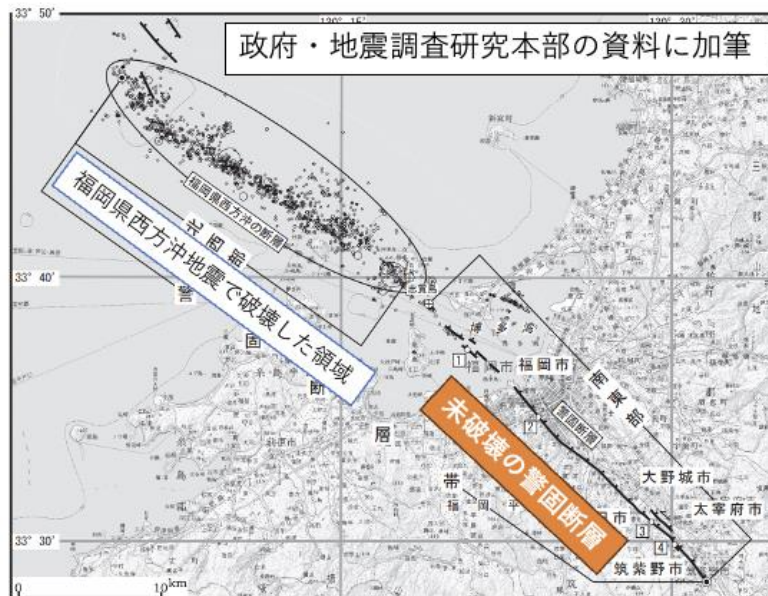


水俣市周辺の群発地震活動は15日の深夜から開始しました。上の図にもお示しましたが、11日から20日までですでに916個の地震を観測しています。

3月18日には、活断層の地震に詳しい東北大学の遠田教授が以下のコメントをされています。

<https://news.ntv.co.jp/n/kkt/category/society/kkc141e9c8c9df4cf9aa2a1d561f4d9a48>

また3月20日は、2005年の福岡県西方沖地震から21年の節目となる日でした。それまで福岡県北西沖は基本的に地震活動が低調な地域と思われていましたが、マグニチュード7.0という規模の大きな地震が発生し、震源地に近かった福岡市の玄界島では、半数の住宅が全壊という大きな被害を出しました。九州北部では、この福岡県西方沖地震の延長上に警固断層があり、福岡市街地の直下を通過しており、ここは十分注意が必要な断層です。



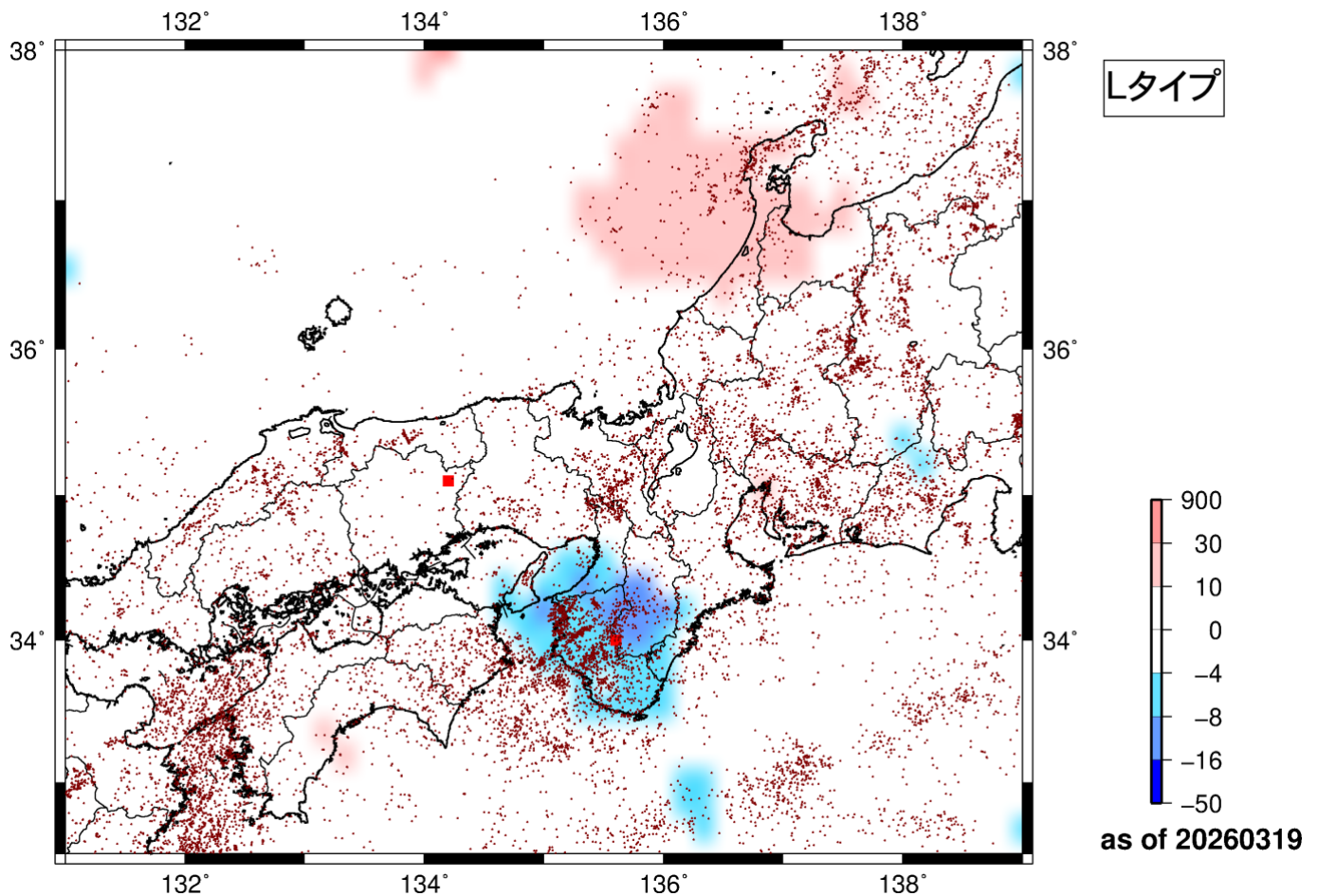


東海地方以西の地下天気図®

2026年2月9日のニュースレターに続き、今週は中部・近畿・中国・四国地方のLタイプ地下天気図をお示しします。

前回の報告と状況はほとんど変わっていない事がわかりました。最も注意を払う必要のあるのは、これまで同様紀伊半島を中心とした地域の静穏化です。またこの地下天気図では静穏化の異常としては小さな領域ですが、紀伊半島沖の静穏化は確度が高い異常と考えています。

過去の経験則では、地震発生はこの静穏化が解消してからの可能性が高いですが、静穏化の最盛期に発生したケースとして、2018年の大阪北部地震(M=6.1)のようなケースも存在します。





DuMA ダッシュボード

3月23日時点のダッシュボードです。今回は新たに北海道西方沖に(LL)の異常を追加しました。前回からコメント等が変更・追加された部分を太字で表現する事にいたしました。

さらにこれまで(Y)としておりました「九州北部の異常」を「九州北部・西部の異常」とさせて頂きました。

更新日

2026.3.23

地下天気図® 解析	地域	警戒度 (異常の確度)	現状	静穏化・活発化期間		予測有効期間 関連情報	備考
				いつ頃から	いつ頃まで		
静穏化異常 現時点では ほぼ解消	千島海溝・日本海 溝会合部 (Jj)	Medium	静穏化はかなり解消して いる	2024年12月	2025年12月 ほぼ解消	解消と判断して から6ヶ月ほど 当面2026年6月 迄	12月8日に青森沖でマグニ チュード7.5発生 現時点では再び小さな静穏化 が出現、同時に活発化も
静穏化異常 継続中	北海道西方沖 (LL)	Medium	陸域を中心とした地下天 気図で静穏化が出現	2026年1月	継続中		発生するとしてもマグニ チュード7以下か
静穏化異常 解消	宮城沖を中心とす るアウターライズ 地域 (R)	High	日本海溝の東側(アウ ターライズ)の地域で静 穏化が継続中	2020年9月	2025年12月 解消	解消と判断して から6ヶ月ほど 当面2026年6月 迄	アウターライズ地域でM7クラ スが予想される
静穏化異常 継続中	茨城県沖・千葉県 沖・房総半島 (Kk)	High	首都圏の地下天気図で も、東北地方を中心とし た地下天気図でも静穏化 継続中	2025年5月	継続中	房総半島南部で も群発地震を観 測	茨城県、茨城県沖、千葉県、千 葉県沖を含む領域
地震発生!	中国地方 (Bb)	High	岡山県を中心とする地域 で静穏化を確認 近畿地方に静穏化が拡大 か	2024年3月	2025年10月	中国地方は静穏 化解消と判断 2026年3月迄	2026年1月6日、マグニチュー ド6.4の地震が島根県東部で発 生。静穏化と対応する地震と考 えている
静穏化異常 継続中	九州北部・西部 (Y)	Medium	福岡県を中心に静穏化を 確認、現在静穏化の中心 は佐賀・長崎方面へ移動	2023年10月	継続中		静穏化の中心は長崎県西方海域 が中心となっている
静穏化異常 継続中	兵庫・大阪を含む 紀伊半島 (Hh)	Medium	今回追加した静穏化の異 常、MタイプだけでなくL タイプでも確認される	2025年7月	継続中		今後の推移に注視。(Bb)から 独立した異常とした
活発化異常 継続中	能登半島周辺 (S)	High	2024年1月1日、令和6年能 登半島地震が発生!能登半 島の東側(佐渡島側)も西 側も歪の蓄積がさらに進行 している	2021年9月	継続中		11月26日に能登半島西方で M6.4の地震が発生。今後は能登 半島の東側(佐渡島近傍)での 誘発地震の発生が危惧される
活発化異常 ほぼ終了	小笠原諸島周辺 (W)	Medium	2023年10月初旬より、鳥島 西方で活発な地震活動開 始。10月には津波注意報が 2度発令された	2022年10月	活発化ほぼ 終了	次回ダッシュ ボードで本異常 解除予定	西之島の噴火や硫黄島の噴火な ど、この海域では火山活動が活 発化している
活発化異常 継続中と判 断	日向灘 (Ff)	Medium	2024年4月に豊後水道で M6.6の地震が発生したが、 この活発化は宮崎沖が中心	2024年2月	まだ継続中		8月8日、臨時情報発表の元と なったM7.1の地震が発生 さらに2025年1月13日にもM6.9 が発生